

2019 年度 九州若手数学者発表賞 5 名（あいうえお順）

第 5 回九州若手数学者発表賞受賞者と受賞題目・受賞理由

池平 宙夢・福岡大学大学院理学研究科 M2

業績の題目：モーメント写像と相対安定性

受賞理由：池平 宙夢氏は、モーメント写像が零点を持たない場合に Kempf-Ness の定理を拡張できるかという問題に関する研究を行い、その成果を日本数学会九州支部例会を含む研究集会において積極的に講演を行っている。その研究活動は九州若手数学者発表賞を授与するに相応しい。

岡崎 勝男・九州大学大学院 数理学府 D1

業績の題目：A Bogomolov type property relative to heights on $M_n(\mathbb{Q})$

受賞理由：岡崎 勝男氏は、代数的数を成分とする正方行列に対して、これ等の行列の高さ関数に対して、Weil 高さ関数で知られている諸定理の類似が成り立つがどうかに関する研究を行い、その成果を日本数学会九州支部例会を含む国内外の研究集会において積極的に講演を行っている。また論文も 2 編あり、その研究活動は九州若手数学者発表賞を授与するに相応しい。

紫村 一輝・大分大学大学院工学研究科 M2

業績の題目：相分離を伴う粘弾性方程式の構造保存型差分解法とその誤差評価

受賞理由：紫村 一輝氏は、構造保存型差分解法とその誤差評価の構成方法の一般化と定式化に関する研究を行い、その成果を 3 つの日本数学会九州支部例会を含む研究集会において積極的に講演を行っている。その研究活動は九州若手数学者発表賞を授与するに相応しい。

藤井 幹大・九州大学大学院 数理学府 M2

業績の題目: Long time solutions of the quasi-geostrophic equation with strong dispersive forcing

受賞理由: 藤井 幹大氏は、地球流体力学に現れる非線形発展方程式に関する適切性に関する研究を行い、その成果を日本数学会九州支部例会を含む研究集会において積極的に講演を行っている。その研究活動は九州若手数学者発表賞を授与するに相応しい。

宮本 萌々・福岡大学大学院理学研究科 M2

業績の題目: Structures of the modular invariant rings for some reflection groups

受賞理由: 宮本 萌々氏は、コンパクトLie群の分類空間のトポロジーに関する研究を主にワイル群のmodular表現に対する invariant 環の構造の観点から行い、その成果を日本数学会九州支部例会を含む国内外の研究集会において積極的に講演を行っている。その研究活動は九州若手数学者発表賞を授与するに相応しい。